

講演

口腔内科学と栄養評価について

2024年4月より、顎口腔外科学講座は、口腔内科・口腔病態制御学講座と改称されました。複雑化・細分化されている歯科医療界において、口腔内科学はなじみが少ないものと思います。口腔内科学会では、口腔内科学を「口腔に局限した疾患の他に全身疾患の口腔症状について診断し、外科的なアプローチをとらずに口腔疾患の治療を担当する分野」とし、顎顔面領域の炎症性疾患・特異性炎、口腔粘膜疾患、唾液腺疾患、神経疾患、口腔心身症、顎関節疾患、摂食嚥下障害・味覚障害・睡眠時無呼吸症などを対象としています。口腔内科は、あまり馴染みのない名称ですが、欧米では75年前から Oral Medicine は歯学の1分野として確立しています。本演題では、口腔内科と周術期口腔機能管理と、栄養状態の関連について発表させていただきます。

略歴

- 1996年 愛知学院大学歯学部卒業（30回生）
- 2000年 愛知学院大学歯学部歯学研究科 大学院修了 口腔外科学博士（歯学）
- 2000年 顎口腔外科学講座（現：口腔内科・口腔病態制御学講座） 助教
- 2005年 愛知学院大学歯学部 在外研究員（癌研究会有明病院）
- 2006年 顎口腔外科学講座（現：口腔内科・口腔病態制御学講座） 講師
- 2013年 名古屋掖済会病院 歯科口腔外科主任部長
- 2024年 口腔内科・口腔病態制御学講座 主任教授

現在に至る

資格

- 日本口腔外科学会 指導医・専門医
- 日本口腔内科学会 指導医
- 国際口腔顎顔面外科専門医（FIBCSOMS）
- 日本がん治療認定機構がん治療認定医
- 日本顎顔面インプラント学会指導医